

がん対策関連の検討会の進捗状況について

平成24年11月6日

1. 小児がん拠点病院について

- 「がん対策推進基本計画」を踏まえ、小児がん拠点病院等について「小児がん医療・支援のあり方に関する検討会」で検討し、報告書が9月3日にとりまとめられた。
- 報告書を踏まえ、「小児がん拠点病院の整備について」（平成24年9月7日健康局長通知）を発出した。患者数が少ないため診療実績や、学会の認定する施設であること、緩和ケアの実施、相談支援の実施、長期滞在施設の整備、保育士の配置等を要件としている。
- 10月9日の申請書提出〆切までに計37医療機関から申請があった。
- 報告書の提言を受け、年内を目途に「小児がん拠点病院の指定に関する検討会（仮称）」を開催し、拠点病院を全国に10箇所程度、地域ブロックごとに1-3カ所を指定する予定。

2. 緩和ケアについて

- 「緩和ケア推進検討会」を本年4月から開始し、計5回開催した。
- 緩和ケアセンターの整備や身体的苦痛や精神心理的苦痛等の緩和に求められる方策を盛り込んだ報告書を9月26日に「中間とりまとめ」として公表した。
- 今後、専門的な緩和ケアを提供するための各職種の適正な配置、緩和ケアへのアクセスの改善、緩和ケアに関する教育体制等について議論する予定。

3. がん検診について

- 「がん検診のあり方に関する検討会」を本年5月から開始し、計2回開催した。
- 第3回（11月13日）は、第2回に引き続き、子宮頸がん検診について議論する予定。
- 子宮頸がん検診について一定の結論を得たのち、他のがん種や検診受診率向上施策を議論する予定。

4. がん診療提供体制について

- 「がん診療提供体制のあり方に関する検討会（仮称）」を年内に立ち上げる予定。
- 拠点病院の指定要件の見直し、地域におけるがん診療のあり方、国民に対する情報提供のあり方、拠点病院の客観的な評価等について議論する予定。

5. がん研究について

- 関係省庁と連携して、年内を目途に「第3次対がん10か年総合戦略」に続くがん研究戦略を策定するための検討を開始する。